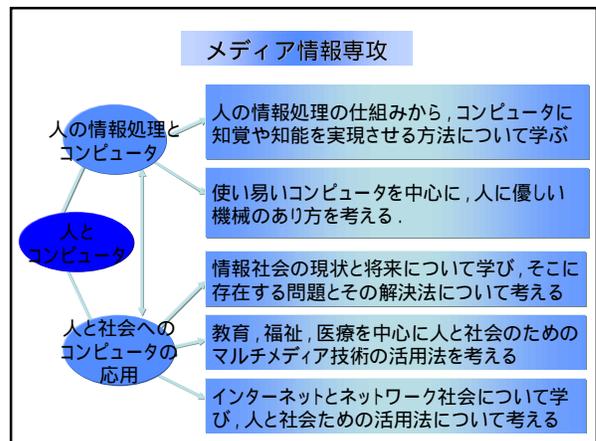
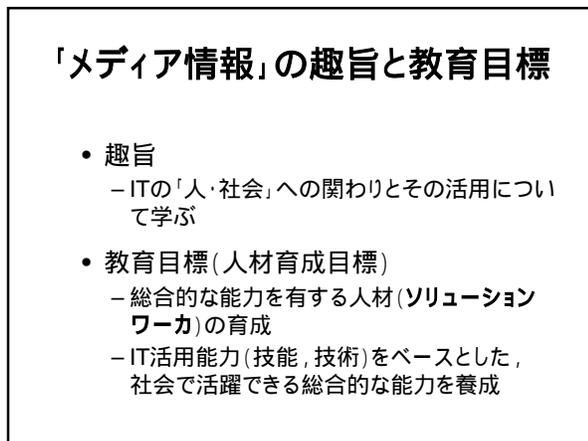
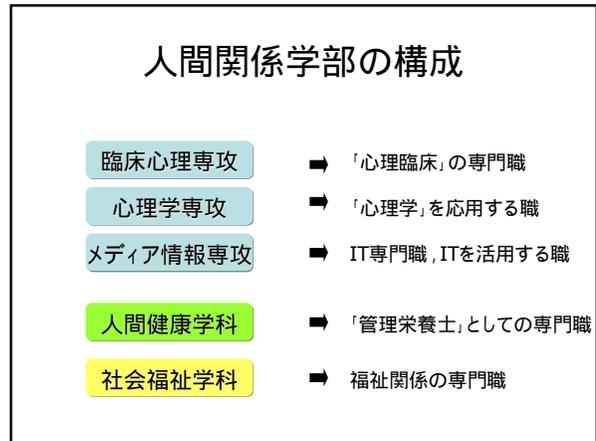
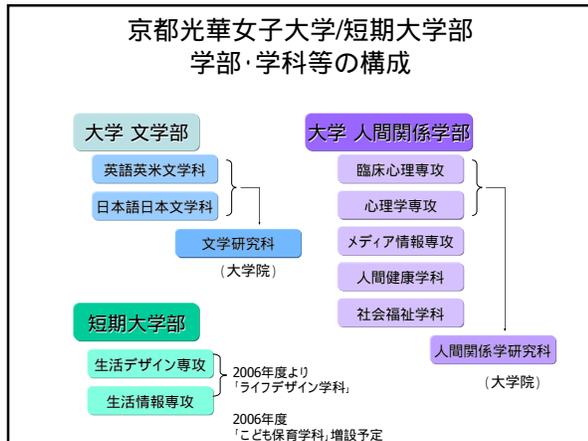
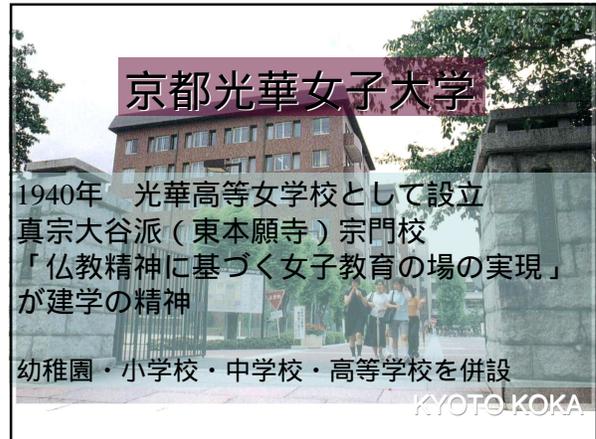


「ITリテラシ教育の新しい取組み」

平成17年11月18日
第5回 CAUA合同分科会(教育研究分科会)

京都光華女子大学
人間関係学部 メディア情報専攻 阿部一晴

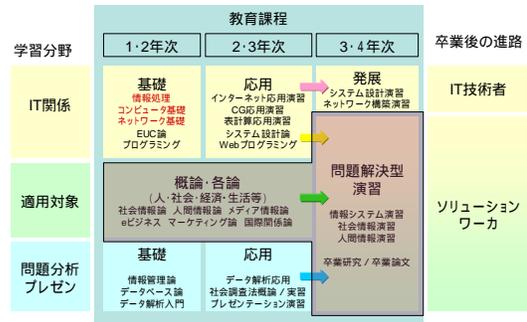


メディア情報専攻 卒業研究テーマ例

- インターネット上での3次元仮想空間の構築とその効果
- 個人のホームページ開設の動機に関する考察
- XMLによる分散データベースのネット利用について
- 携帯電話によるモバイルコンピューティングとその応用
- 携帯電話における友人とのコミュニケーションに関する調査
- 携帯電話における迷惑メールの現状と対策
- 人はなぜテレビゲームに熱中するか
- テレビゲームの脳への影響に関する一考察
- 住基ネットについて - 賛成・反対でもなく中間の立場にたってみて -
- 中高年齢者向けEメールのマニュアル作成 - ユーザビリティ向上をめざして -
- 高齢者の生活を支援し、豊かな生活を実現するITの可能性について
- 仲間作りにおける人間行動のコンピュータ・シミュレーション

教育課程と進路

IT能力(技能、技術)をベースとした 問題発見、分析・解決、企画・立案、プレゼンテーションの総合的な能力養成を目指す。



本学でのITリテラシ関連科目

- 実技系(一般教養:全学部対象 選択)
 - 情報処理
タイピング、PC操作、Wordの基本
 - 情報処理
Excelの基本
 - 講義系(専門基礎:人間関係学科対象 選択)
 - コンピュータ基礎
 - ネットワーク基礎
- 入学以前(高校)の学習状況に応じて選択
現在は自己申告、客観的な基準が必要

実技系基礎科目

- ~2001年度
人間関係学科: 情報処理 情報処理 必修
他学科: 情報処理 情報処理 選択
- 2002~2003年度
人間関係学科: 情報処理 (Excel基礎)・
情報処理 (Excel応用) 必修
文書処理演習(タイピング・Word基礎)・
DTP演習(Word応用) 選択
- 他学科: 情報処理 (Word)・
情報処理 (Excel) 必修
- 2004年度~
全学部全学科: 情報処理 情報処理 選択
人間関係学科: 上記に加えて DTP演習(Word応用)・
表計算応用演習(Excel応用) 選択

リテラシーを客観的に測定する基準の模索

IC³(アイシースリー)



IC³(Internet and Computing Core Certification)とは

コンピュータとインターネットの基本知識とスキルが身につく
世界共通のIT資格試験(114カ国以上で実施)

19ヶ国の専門家によって開発

- ★ ITリテラシーの世界的な基準として確立
- ★ CompTIA、ACEなどIT・教育団体からの推奨
- ★ 特定ベンダーの影響を受けることなく作成・実施
 - 国際的に信頼性の高い指標と評価

知識と実技を同時に測定

「知っていること」「使いこなすこと」●●● 総合的に判定・証明

変化の激しい社会に対応

2年に1回、出題範囲を見直し、常に最新の情報を更新
(2005年3月より2005スタンダード開始)

IC³の科目

コンピューティングファンダメンタルズ

コンピュータの仕組みや構造の理解
ハードウェア、OS、用語、操作の基礎

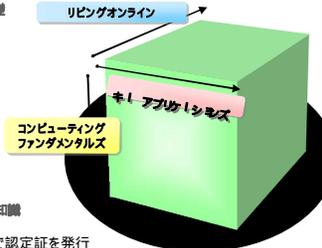
キー アプリケーションズ

ソフトウェアを使いこなす
Officeソフトの機能、基本操作

リビングオンライン

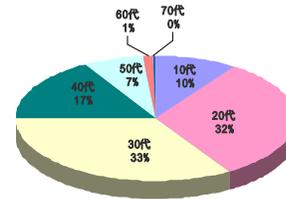
インターネット・メールを使いこなす
ネット・メールの理解、セキュリティの知識

* 3科目すべてに合格した時点で認定証を発行
* コンピュータを使うための基本となるスキルを、バランス良く習得できる



IC³の現状 ~ 日本の受験者層 ~

IC³受験者年代別構成比



2002.11 ~ 2005.4 IC³受験者データ

IC³の現状 ~ 世界における状況 ~

IC³テスト数 上位国

アイルランド	シンガポール
アメリカ	スイス
イギリス	中国
イタリア	ドイツ
カナダ	日本
ギリシャ	ニュージーランド
サウジアラビア	南アフリカ

114カ国で実施
(2005年8月現在)

IC3科目と本学カリキュラムとの対応

- **コンピューティングファンダメンタルズ**
(コンピュータ基礎)
- **リビングオンライン**
(ネットワーク基礎)
- **キーアプリケーションズ**
(情報処理 ・ プレゼンテーション演習)

学内で試験実施(前期・後期各一回)



授業計画(コンピュータ基礎)

- **授業期間** 前期
- **配当年次** 1~4年(基本的に1年生での受講が望ましい)
- **授業テーマ** コンピュータの基礎
- **評価の方法** 出席状況、授業中の小テスト、期末試験等により総合的に評価する
- **教科書** IC3合格テキスト コンピューティングファンダメンタルズ編
NECパーソナルプロダクツ アスキー
- **参考書** 情報技術と情報社会 山本嘉一郎・阿部一晴 他 学術図書出版社
大学生の情報活用技術 森際孝司・阿部一晴 他 ムイスリ出版
初級シスアドスーパー合格本 三輪幸市 秀和システム

授業の内容(コンピュータ基礎)

- **a. 授業の主旨**
人間情報専攻における情報関連専門科目を学習する上で必要となる、コンピュータに関する基礎知識を学習する。具体的には、コンピュータハードウェアの基礎、コンピュータソフトウェアの基礎、オペレーティングシステムの基礎、その他コンピュータ利用に必要な知識・技術の基本を身に付ける。
- **b. 授業計画**
 - ・ハードウェア
 1. ハードウェアの基礎知識
 2. 演算装置と制御装置
 3. 記憶装置
 4. 補助記憶装置
 5. 入力装置
 6. 出力装置
 7. 装置の接続
 8. コンピュータとネットワーク
 9. コンピュータの処理能力
 10. パソコンの選定

授業の内容(コンピュータ基礎)

- **b. 授業計画(続き)**
 - ソフトウェア
 1. ソフトウェアの基礎知識
 2. ソフトウェアの分類
 3. オペレーティングシステムの基礎知識
 4. Windowsの基礎知識
 5. システム設定
- **c. 授業の方法**
主としてテキストを中心とした講義形式でおこなう
- **備考**
本科目履修後にIC3の受験を推奨する

授業計画(ネットワーク基礎)

- **授業期間** 後期
- **配当年次** 1~4年
- **授業テーマ** コンピュータネットワークの基礎
- **評価の方法** 出席状況、授業中の小テスト、期末試験等により総合的に評価する
- **教科書**
IC3合格テキスト リビングオンライン編 NECパーソナルプロダクツ アスキー
- **参考書**
情報技術と情報社会 山本嘉一郎・阿部一晴 他 学術図書出版社
大学生の情報活用技術 森際孝司・阿部一晴 他 ムイスリ出版
超図解資格 初級シニア試験例題マスター エクスメディア エクスメディア

授業の内容(ネットワーク基礎)

- **a. 授業の主旨**
人間情報専攻における情報関連専門科目を学習する上で必要となる、コンピュータネットワークに関する基礎知識を学習する。具体的には、ローカルエリアネットワーク、インターネットの仕組み、インターネットの利用方法、インターネットが社会に与える影響、その他コンピュータネットワーク利用に必要な知識・技術の基本を身に付ける。
- **b. 授業計画**
 1. ネットワークシステム
 2. インターネットの仕組みを理解しよう
 3. インターネットでホームページを公開しよう
 4. インターネットに注意すること
 5. インターネットへの接続
 6. Webページの閲覧
 7. インターネットで欲しい情報を閲覧するには
 8. 電子メールの利用
 9. 電子メールの利用マナー
 10. コンピュータ/インターネットが与える影響
- **c. 授業の方法**
主としてテキストを中心とした講義形式でおこなう
- **備考**
本科目履修後にIC3の受験を推奨する

IC3に関する今後の検討事項

- 入学時点での学生のリテラシーレベルの評価
全入学生へのIC3一斉試験?
- IC3合格を各科目の単位認定条件とするか?
- 入学時にIC3を取得している学生
- 受講を免除し、単位を認定?
- 目標レベルに達しているので受講不要?



サイバーキャンパスによる学習支援

